

## 第3学年 国語科学習指導案

児童 男14名 女11名 計25名  
指導者 佐藤 敬子

1 単元名 大事なことをたしかめよう 「すがたをかえる大豆」「食べ物はかせになろう」

2 単元について

(1) 教材について

第3学年及び第4学年の「C読むこと」における目標は「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。本単元は、確かな読み取りの学習ができるようにするとともに、読みの学習をとおして身につけた力をもとに、さまざまな本で調べ、集めた情報を文章にまとめるという設定になっている。

本教材「すがたをかえる大豆」は、ほとんど毎日なんらかの形で口にする大豆やその加工食品について書かれたもので、子どもにとって身近なものである。しかし、大豆の加工食品は、見ただけでは大豆からできているとは思われないものも多く、子どもには意外なことであり、どのように姿を変えるのか興味を抱かせるものである。初めに説明する対象物を提示し、それについて説明を施すという解説型の文章構成になっている。そのため、書かれている内容を確かに読み取ることに適した教材である。

(2) 児童について

子どもたちは、1学期に仮説検証型の説明文「ありの行列」で、段落という概念を学び、段落の中で中心となる語や文に目を向けて読むことを学習した。これまでの学習をとおして、まとまりに気をつけ、繰り返し出てくる言葉に着目しながら読み取ることは、少しずつだができるようになってきている。しかし、接続語や文末表現に注意して文章を理解する力や指示語の指す内容をつかむ力は十分ではない。また、自分なりの読みをもとと真剣に課題解決に取り組み、友達の読みと比べながら聞くことができる子どもたちが増えてきている。しかし、みんなの前で自分の考えを話すことに苦手意識をもつ子どもも少なくない。

(3) 指導について

「すがたをかえる大豆」で学んだ文章の内容を段落ごとに整理して読む活動が、「食べ物はかせになろう」で調べたことを文章にまとめる活動につながるよう、次の点に留意しながら指導にあたりたい。

「みとおす」段階では、大豆や大豆から作られた食べ物の実物を用意し、姿を変える大豆に対する驚きをより実感できるようにし、関心を高めたい。そのうえで、大豆に人の手を加えて姿を変えることを「変身の術」と呼び、「大豆の変身の術を見つけよう」というめあてを子どもにもたせ、学習の意欲を高めるとともに、目的意識をもたせていきたい。

「ふかめる」段階では、始めに話題となっている内容をつかませ、次に「くふう」という言葉に着目して、大豆をおいしく食べる工夫と食品について読み取っていく。その際、大豆が食品にかわっていく方法をまとめることで、それぞれの工夫がどんなものなのか詳しく読み取らせたい。まず、大事な言葉や文にサイドラインを引いたり、ワークシートにまとめたりの活動を行い、自分の読みをもたせるようにする。そして、自分の考えを発表したり、友達の考えを自分の考えと比べながら聞いたりすることで、さらに自分の読みを確かなものにさせていきたい。また、読み取ってわかったことをまとめる活動や学習感想で自分の学習

を繰り返す活動を繰り返し取り入れることで、自己の変容を自覚させたり、次の学習への目的意識をもたせたりしていきたい。

「ひろげる」段階では、段落に小見出しをつけさせることで、段落意識を高め、段落相互の関係を押えさせたい。そして、文章全体が「初め・中・終わり」の大きなまとまりで構成されていることを理解させたい。

「食べ物がかせになろう」では、調べてみたい食品について本や資料で調べ、興味をもって調べたことを「すがたをかえる大豆」の書き方を参考にして、はじめ、中、終わりに分けて書く力を育てていきたい。

### 3 単元の目標

- (1) 身近な食べ物についての知識を得るとともに興味を広げる。
- (2) 中心となる語や文、段落相互の關係に注意して文章を読む。
- (3) 本での調べ方を知り、身近な食べ物について調べ、分かりやすくまとめて友達と交流する。

### 4 指導計画と評価規準 ( 「読むこと」9時間 「書くこと」9時間 全18時間 )

過程	時	学 習 活 動	評 価 規 準
みとおす	1	題名をもとに、大豆を使った食品について知っていることを発表する。 「すがたをかえる大豆」を読む。	関：大豆は手を加えて食べる工夫をすることですがたをかえることに興味をもって「すがたをかえる大豆」を読もうとしている。 言：新出漢字の読みや筆順に気をつけている。
ふかめる	1	大豆にどんな手を加えるとどのような食品にすがたをかえるのかについて疑問をもつ。 段落に番号をふる。 第1段落を読み、この段落で大事なことは何かを探す。	関：「すがたをかえる大豆」いう説明文から、その工夫を読み取ろうとする意欲をもっている。 読：第1段落には、大豆がいろいろな食品にすがたをかえていることが中心に書かれていることを読み取っている。
	2	第2段落を読み、「大豆のへん身の術」にあたる言葉を探す。	関：大豆をおいしく食べる工夫を進んで読み取ろうとしている。 読：「くふう」という言葉に着目し、大豆にいろいろ手を加えて、おいしく食べるくふうをしていることを読み取っている。
	3	第3段落を読み、「大豆のへん身の術」にあたる言葉を探す。	関：大豆をおいしく食べる工夫を進んで読み取ろうとしている。 読：「くふう」という言葉に着目し、第3段落に書かれているおいしく食べる工夫と、できる食品を読み取っている。
	4	第4・5段落を読み、「大豆のへん身の術」にあたる言葉を探す。	関：大豆をおいしく食べる工夫を進んで読み取ろうとしている。 読：「くふう」という言葉に着目し、第4・5段落に書かれているおいしく食べる工夫と、できる食品を読み取っている。

本時	5	第6段落を読み、「大豆のへん身の術」にあたる言葉を探す。	関：大豆をおいしく食べる工夫を進んで読み取ろうとしている。 読：「くふう」という言葉に着目し、第6段落に書かれているおいしく食べる工夫と、できる食品を読み取っている。
	6	第7段落を読み、「大豆のへん身の術」にあたる言葉を探し、3～7段落のつながりを考える。	読：第7段落に書かれているおいしく食べる工夫と、できる食品を読み取る。 言：接続語などに着目して段落相互の関係を考えている。
	7	第8・9段落を読み、この段落がどのようなことを説明しているのかを見つける。	読：第8・9段落では、全体のまとめが書かれていることを読み取る。
ひろげる	1	「すがたをかえる大豆」の文章の構成をとらえる。	読：段落構成を読み取り、「初め・中・終わり」の大きなまとまりを理解している。 言：文章全体における段落の役割を理解している。
みとおす	1 ・ 2	「食べ物はかせになろう」を読み、調べたい食べ物を決める。 学習計画を立てる。	関：調べたい食べ物と調べる事柄を決め、学習計画を立てようとしている。
ふかめる	1 ・ 2 ・ 3	「本で調べる」をもとに、本での調べ方を知る。 目的に合った図書資料を探し、調べてわかったことをカードに書く。	関：調べることに必要な本を探して読んでいる。 書：必要な情報を集めて大事なことをカードに書いている。 言：わからない語句は、国語辞典などで調べることができる。
	4 ・ 5 ・ 6	調べた事柄を書いたカードを並べ替えながら書く順番を決め、段落を分けて作文メモを作る。 作文メモに従って、文章にまとめる。 清書する。	関：「すがたをかえる大豆」の学習を生かし、文章を構成しようとしている。 書：情報を整理して、段落ごとにまとまりのある文章を書いている。
ひろげる	1	完成した文章を読み合い、お互いに評価し合う。	関：自分や友達の文章のよさを見つけようとしている。 書：完成した文章の段落の作り方や事柄の並べ方に注目しながら友達の文章に対して感想を書いている。

5 本時の指導 ( 6 / 18 )

( 1 ) 目 標

- ・「くふう」という言葉に着目して、第6段落に書かれているおいしく食べる工夫と、できる食品を読み取ることができる。

( 2 ) 展 開

段階	学習内容と活動	評価 ( ) と支援 ( ・ )
つ か む 4 分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">大豆のへん身のじゅつを見つけよう。</div> ・課題解決の見通しをもつ。	・前時で学習したおいしく食べる工夫と食品を確認する。 ・変身の術は「くふう」という言葉に着目して見つけていけばよいという学習の見通しをもたせる。
ふ か め る	3 本時の学習場面(第6段落)を音読する。 4 課題を解決する。 ( 1 ) 大豆の変身の術を第6段落から読み取る。 ・大豆の変身の術(おいしく食べる工夫)にサイドラインを引き、食品を丸で囲む。 ・大豆の変身の術と大豆がすがたを変えた食品についてワークシートにまとめる。 ( 2 ) 見つけた変身の術について全体で話し合う。 ・目に見えない小さな生物の力をかりて = ナットウキン・コウジカビの力をかりて ・ちがう食品 = なっとう, みそ, しょうゆ	・一斉読み ・「くふう」という言葉に着目してサイドラインを引かせ、大豆がすがたを変えた食品を丸で囲ませたうえで、ワークシートにまとめさせていく。 ワークシートにまとめながら、大豆をおいしく食べる工夫を進んで読み取ろうとしている。(ワークシート・観察) ・見つけた変身の術のなかの「目に見えない小さな生物の力」, 「ちがう食品」とは何かを確認めさせる。

29分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むした大豆+ナットウキン あたたかい場所に1日置く =なっとう</li> <li>・むした米か麦+コウジカビ+塩 +煮てつぶした大豆 風通し のよい暗い所に半年から1年 置く=みそ(しょうゆ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かたくてそのままでは食べにくい大豆が「なっとう」や「みそ」(しょうゆ)にすがたを変えていくまでを、全体で確かめ合いながら、変身の術の4つめを読み取らせる。</li> </ul>
まとめ	<p>5 本時の学習をまとめる。 (1)本時の学習でわかったことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見つけた変身の術(おいしく食べる工夫)とすがたを変えた食品について、ペアで発表し合いながら、確認し合う。</li> <li>・「へんしんのじゅつカード」に、まとめる。</li> </ul> <p>(2)学習のふり返しをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートをもとに、本時で読み取ったこと(大豆の変身の術と食品)をペアで発表し合いながら、読みを深めさせる。</li> <li>「くふう」という言葉に着目し、第6段落に書かれているおいしく食べる工夫と、できる食品を読み取っている。 (ワークシート・発言)</li> <li>・学習感想をまとめることで、本時の自分の学びを見つめさせる。</li> </ul>
12分	6 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時は、第7段落を考えていくことを知らせる。</li> </ul>

(3) 評価

評価の観点	評価規準	努力を要する児童への手立て
国語への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートをとおして、大豆をおいしく食べる工夫を進んで読み取ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆がすがたを変えた食品の写真を見せ、その食品に変身するおいしく食べる工夫が書いてある文を探すようにさせる。</li> </ul>
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「くふう」という言葉に着目し、第6段落に書かれているおいしく食べる工夫(目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にする工夫)と、できる食品(なっとう、みそ、しょうゆ)を読み取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを確認させたり、くふうを表す言葉にサイドラインを引かせたりする。</li> </ul>

